館山

ウガンダ支援へ120万円募る

支援グループがクラウドファンディング

10月末までに車購入資金

NPO法人安房文化遺産フォーラムのウガンダ支援グループ「ひかりの」が、ウガンダの子どもたちのために現地で活動している車両の買い替えを目指し、クラウドファンディング（インターネットによる資金調達）を始めた。目標金額は120万円で、10月31日まで募金活動する。返礼品も充実させ、早期達成を目指している。

ウガンダ共和国は今も孤児が多く、厳しい生活環境にある。南房総地域でのウガンダ支援は、旧安房南高校で始まる。物心両面での支援が続けられた。その交流の証しとして、現地に職業訓練校「安房南洋裁学校」が設立されている。

高校の統廃合に伴い安房高校JRCを経て、現在は安房西高校JRCに受け継がれ、今年で23年目を迎える。現在は同NPOが窓口となり、支援を担っている。

現地ではウガンダ意識向上協会のメンバーらが、子どもたちに寄り添いながら、学校への送迎、食料や生活用品の運搬などに活動車両を使い、走っていた。

今年5月、現地から1通のメールが届く。「活動している自動車が故障してしまい、とても困っている。車の購入資金をサポートしてもらえないか」とあった。支援バザーなども開かれているが、120万円には遠く届かない。ひかりののメンバーらが協議を続け「1人の力は小さいが、集まれば大きな力となる」と、クラウドファンディングを使って資金提供を呼び掛けることを決めた。

運営組織との詳細な協議も終え、21日から募金活動がスタートしている。返礼品は3000円コースから15万円コースまであり、ウガンダの子どもたちからのメッセージカードなどが用意されている。1万円以上は、購入した車に寄付者の名前が掲載される。

寄付は「Ready for」のホームページから。アカウント登録を済ませてから手続する。ゆうちょ銀行の「振替払込」もできる。

支援グループの共同代表の河辺智美さん、金子麻美さん、小谷美紀さんは「決っして私には何もできないと思わないで。どんな形でも構いません。協力をお願いします」と口をそろえる。

活動についての問い合わせは、ウガンダ支援グループひかりの（047-0-22-8271）へ。

ウガンダ支援のためのチラシ

房日新聞

2017.8.23付